

新年 箱根駅伝応援特集号！

新年に熱く「箱根駅伝」。テレビの前で盛り上がりましたか？

法政大学後援会長野県支部では、新年1月3日（金）、箱根駅伝の応援を行いました。毎年9月には、菅平高原で合宿を行っている駅伝チームへの激励を行っていて、坪田監督や選手たちを身近に感じています。それだけに、熱い思いで有志が現地応援に参加。中原支部長の応援記です。

箱根駅伝応援報告・2日目復路横浜駅東口

長野県支部長 中原かおる

到着した朝8時過ぎには、すでにHSCや後援会本部役員の皆さんが集まり、箱根をスタートした選手の様子をタブレットを囲んで見守っていました。スタッフのジャンパーと法政旗で辺りはすでにオレンジ色。時間の経過とともに、現役の学生や卒業生、ご主人が卒業生という年配のご婦人など、「オレンジ」に吸い寄せられるように法政ファミリーが集まり、エコぴょんと写真撮影したり会話が弾んだりしていました。

トップの選手が近づくにつれ、交通規制が行われ、駅伝関係の車や警察の車両が通ると徐々に緊張感が...
テレビ中継車の後を1位の選手が走り抜けると、次々に選手達が走り抜けていきます。

オレンジエクスプレス9区の清水郁杜（しみずいくと）選手を、「いくとコール」で応援。白バイを押し出すように目の前を走り抜ける選手のなんとかっこいいこと!!



慰労会で廣瀬総長とともに

その後10区の選手を応援すべくJRで移動。地図アプリを使いこなせないで、本部の役員さんが京橋まで道案内をしてくれました。東京駅のホームにはなんと別の役員さんが迎えに来てくださり、手厚いサポートに感謝するばかりです。

京橋はすでに道路の両側に賑やかなオレンジ色。オレンジ色の看板の「あの牛丼屋さん」までもが一緒に法政大を応援してくれているようでした。ひと雨降った後の青空にヘリコプターが飛び、暖かい日差しの中をオレンジエクスプレス10区行天陽虹（ぎょうてんはるく）選手が走り抜けていきます。駅伝選手の走る姿はまるで芸術作品のようで、まっすぐな背中と前後にグンと伸びる脚が美しく、ほんとうにかっこいい。

法政大学の総合順位はご存じの通り15位。残念ながらシード権を獲得できず、次は予選会から。

終了後に開かれた慰労会では「来年の駅伝は、予選会もあるから2回も応援ができる!!」とどなたかが言っていました。そしてTV中継では「強い法政は必ず戻ってくる。」との実況も。

多くの期待を背負いながら、一年に一回しかない戦いに挑む選手の皆さまを誇りに思います。怪我をすることなく、走ることを楽しみながら次を目指して欲しい。

箱根駅伝を現地で応援できる幸せ。そこには嬉しい出会いがあり、ひとつのチームを応援する一体感があり、最後には有楽町で円陣を組んで校歌を歌うという最高のご褒美がありました。

支えてくださった後援会本部の皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございました。

「長野県支部便り」は支部の動きや情報を随時発信していきます。支部運営へのご協力をお願いいたします。

(副支部長 早川) eijihy@gmail.com

